

基本情報



【年 齢】
57歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
東京都新宿区
【前 職】
麒麟ビール株式会社
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

35年間勤務した麒麟ビール株式会社を定年退職するにあたり、長年にわたり日本産ホップの契約栽培でお世話になっている秋田県（横手市・大館市）でのホップ文化継承に少しでも貢献したいと思い応募しました。

2011年4月から2年半、麒麟ビール秋田支社長として秋田県の行政・商工会・流通・外食・JA・JF・メディア・地域コミュニティなど各方面の皆さまとも交流していたこともあり、横手市や大雄ホップ農業協同組合の皆さまも身近に感じられた事も大きな要因です。

今後の抱負・任期後の目標

「今の組合運営を持続可能な形にする」、「横手のホップ文化を未来に繋いでいく為の基礎を作る」という2つの大きな使命を、横手市の皆さんと一緒に全うしたいと考えています。その為にも、日本産ホップ文化の危機を世の中に伝えながら、日本産ホップ文化の魅力を発信して、ホップ生産量の安定及び、担い手の確保を推進していきます。任期後も日本産ホップ文化の伝承に関わるとともに、自身の「梨農家」になるという夢の実現に向けて可能性を探っていきたい。

活動内容

●ホップ栽培マニュアルの作成

53年の歴史がある横手でのホップ栽培において、大まかな年間の作業項目は共通ですが、生産者によって夫々に工夫や拘りがある中で、新規参入者や外部の方々にも、分かりやすい栽培マニュアルを作成。技術の伝承・発展に活用するべく、気象データや生育状況との関連性も探求し始めています。



●ホップ文化の危機及び魅力についての啓蒙活動

日本産ホップ文化の危機及び魅力について、幅広く情報発信をしていく事で、行政や地元の皆さん・ビールに関心のある方々に現状を理解して頂きホップ文化への支援や新規参入の可能性を模索しています。農水省・秋田県・ロータリークラブ・異業種交流会・地元の小学校や中学校など。



●ホップ及び生産地のブランド化推進

横手で主に生産されている「IBUKI」というホップのブランドを確立する事で、主要な生産地である「横手」のブランド向上に繋げる。麒麟ビール「晴れ風」の好調を機に、同社への働きかけを強めて、ともに日本産ホップ文化の維持・発展に向けて取り組んでいます。



日本産希少ホップ「IBUKI」が生み出す『晴れ風』の味わい。秋田県横手市の生産地を訪ねて

73
2024/10/18 00:00

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス(大雄ホップ農業協同組合)) taiyuhop@cello.ocn.ne.jp
(電話番号(大雄ホップ農業協同組合)) 0182-52-2631

【よこてホッププロジェクト】

<https://www.facebook.com/yokotebeer>